

業務実績報告書

提出日令和2年1月21日

1. 職名・氏名 教授 唱 新

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 福井県立大学、授与年月 2011年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 中国経済論（2単位 毎年開講） 2年生	
② 内容・ねらい	中国の工業化、外資系企業の対中直接投資、地域経済の発展、国民生活の改善などを中心に中国型経済システムの形成、現状と課題を説明し、学生諸君の中国への関心を高め、その理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	経済成長の一般理論の解明からはじめ、その一般理論に基づいて、中国の現実を説明し、中国経済システムの現状、特徴と課題を解明する。講義中、板書、ビデオ、パワーポイントなどを活用して、わかりやすく説明する。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	中国の経済と企業（2単位 毎年開講） 3年次
② 内容・ねらい	企業と産業の視点から企業制度の変化、主要産業の発展、有力企業の経営実態などを説明し、中国経済成長の構造的特徴及び中国型ビジネスモデルへの理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	中国企業の事例を中心に中国型ビジネスシステムを説明する。講義中、板書、ビデオ、パワーポイントなどを活用して、わかりやすく説明する。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	環日本海経済論（2単位 隔年開講 オムニバス） 3年次
② 内容・ねらい	中国東北地区の経済成長と北東アジア諸国との経済交流からみた経済発展の潜在力
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	国際貿易の理論に基づいて、中国東北地区と北東アジア諸国との経済協力の潜在力をわかりやすく説明する。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	基礎ゼミ（2単位、毎年開講） 2年次
② 内容・ねらい	経済学を勉強するための基本的な方法の学習や実際の訓練を通じて、学習能力を高める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	レポート作成やデータ分析などを通じて、学生の学習能力を高める。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	演習 I（4単位 毎年開講） 3年次
② 内容・ねらい	応用経済学の視点から実際のデータを用いて、中国経済成長の実態を解明する。 前期では特定のテーマを設定し、関連データを収集し、Excelで分析を行う。 後期では特定のテーマについて調査・研究を行った上で、レポートの作成、ゼミでの報告質疑応答を行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	実際のデータ分析を通じて、応用経済学の分析方法を習得させ、中国経済の実態を理解させる。

<p>① 担当科目（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（４単位 毎年開講） ４年次</p> <p>① 内容・ねらい 演習Ⅰの統計分析に基づいて、卒論の作成を行う。</p> <p>② 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 論理的な分析力の向上に努力する。</p>
<p>① 担当科目（単位数） 主たる配当年次等 東アジア経済特論（２単位 毎年開講） 大学院</p> <p>① 内容・ねらい 東アジア生産ネットワークの形成と国際分業関係の変化 東アジアにおけるリージョナリズムの進展 中国を含めた東アジアの経済動向と日本の対応</p> <p>② 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 実際のデータ分析を通じて、応用経済学の分析方法を習得させ、東アジア経済の実態を理解させる。</p>
<p>(2)非常勤講師担当科目</p>
<p>①担当科目名（単位数） 開講学校名</p>
<p>②内容・ねらい</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p>
<p>④本学における業務との関連性</p>
<p>(3)その他の教育活動</p>
<p>①経済経営研究科論文博士学位主査 論文タイトル：『東アジア国際分業と華越経済圏—広東省とベトナムの生産ネットワーク』 論文申請者：池部亮（福井県立大学地域経済研究所 准教授）</p> <p>②経済経営研究科修士論文副査 論文タイトル：「日本の長寿企業に関する研究」 論文申請者：劉 莉莉</p> <p>③経済経営研究科修士論文指導 論文タイトル：「中国ECの現状と将来展望」 論文申請者：陶 吉吉</p> <p>④経済経営研究科修士論文指導 論文タイトル：「外国人材の受入と地域経済の活性化」 論文申請者：番場加容子</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

★論文

- ①「中国企業対外直接投資の進展」(北陸 AJEC『ウォームトピック』、Vol134、2017年 MAR/APR、36～44 ページ、所収)
- ②「中国と東南アジア・南アジアから見たアジア経済連携—経済成長ダイナミズムの西方シフト」(一般財団法人日中経済協会『日中経協ジャーナル』、2017年3月号、14～17 ページ、所収)
- ③「アジア経済の躍進と日中競合」(『第9回(2016)白馬会議報告書』、2017年5月、8～14 ページ、所収)
- ④「東アジア農林水産品・食品貿易と中日農産品貿易の課題」(進藤栄一・朽木昭文・松下和夫等編『東アジア連携の道を開く』花伝社、2017年9月版、260～271頁所収)
- ⑤「中国機械産業：国際競争力の真相と将来展望」(北陸 AJEC『ウォームトピック』、Vol138、2017年 NOV/DEC、12～22 ページ、所収)
- ⑥「中国機械産業の成長構造と「中国製造 2025」の課題」(『福井県立大学経済経営研究』第37号、2017年10月、1～14頁)
- ⑦「部品貿易からみた東アジア国際生産ネットワークの変貌—東アジアトライアングルの新基軸—」(北東アジア学会『北東アジア地域研究』2018年第24号所収、11～23頁)
- ⑧「一帯一路と東アジア海上国際物流の進展と課題」(進藤栄一等編『一帯一路からユーラシア新世紀の道』、日本評論社、2018年12月版、84～89ページ所収)
- ⑨「一帯一路は債務の罠ではない」(『現代の理論』第19号、2019年5月3日)
- ⑩「一帯一路における中国港湾・海運企業の事業展開と日本の対応—グワダル港・チャーバハール港・ピレウス港を中心に」(JET 中国総合研究・さくらサイエンスセンター委託研究報告書『一帯一路の現状分析と戦略展望』2019年所収)

★トピック・コラム・新聞寄稿

- ①「習近平訪米と米中経済関係の行方」『世界経済評論 IMPACT』2017年4月10日
- ②「ユーラシア陸上輸送ルートの進展と課題」『世界経済評論 IMPACT』2017年8月7日
- ③「中国「一帯一路」どうみる？」『日本経済新聞』2017年7月21日「経済教室」
- ④「新たな成長段階を迎えた中国と日本企業の商機」『世界経済評論 IMPACT』2017年12月4日
- ⑤「習近平体制2期目の市場開放政策とアジア大市場の形成」『世界経済評論 IMPACT』2018年3月26日
- ⑥「日中韓 FTA とアジアコンセンサスの形成」『世界経済評論 IMPACT』2018年5月28日
- ⑦「中日の第3国での民間経済連携について」『世界経済評論 IMPACT』2018年10月1日
- ⑧「ハンバントタ港の真相と中国の教訓」『世界経済評論 IMPACT』2018年11月26日
- ⑨「“債務の罠”のパラドックス」『世界経済評論 IMPACT』2019年2月4日
- ⑩「中国の自由貿易試験区とアジアの地域統合」『世界経済評論 IMPACT』2019年10月28日

★著書

★学会報告等

- ①「トランプ時代の中米関係とアジア地域の将来」(国際アジア共同体学会 第2回特別政策研究会、2017年2月18日、専修大学神田キャンパス)
- ②国際アジア共同体学会2017年春季大会「ユーラシア新世紀をどう生き抜くか」パネリスト(2017年6月24日 立教大学池袋キャンパス)
- ③国際アジア共同体学会2017年秋季大会「東アジア環境・エネルギー・食料共同体をつくる」報告(2017年9月30日 立教大学池袋キャンパス)
- ④国際アジア共同体学会2018年春季大会「ASEAN と中印関係—新アジアトライアングルへ」(2018年6月24日、専修大学神田キャンパス)
- ⑤「中米貿易戦とアジア経済秩序の在り方」(富山大学主催シンポジウム基調報告、2018年9月20日)
- ⑥北東アジア学会統一論題コメンテーター(2018年9月29日立命館大学びわこ・くさつキャンパス)

- ⑦「アジア太平洋戦略からアジア新トライアングルへ」(中国遼寧大学主催「一带一路枠組みにおける中日交流と協力国際シンポジウム」2018年9月8日)
- ⑧「アジア太平洋戦略からアジア新トライアングルへ」(中国大連外国語大学主催「一带一路と都市間協力中日国際シンポジウム」2018年9月10日)
- ⑨「TPP11・RCEP・「一带一路」とアジア地域経済連携の行方」(大阪産業大学主催シンポジウム、2018年11月25日、大阪産業大学梅田キャンパス)
- ⑩2019年9月11日 福建師範大学台湾研究センター主催のシンポジウム「中日関係及び福建台湾関係」での報告
- ⑪2019年9月14日 アモイ大学台湾研究院主催シンポジウム「中日関係背景における台湾問題」での報告
- ⑫2019年9月28～29日 北東アジア学会第25回学術研究大会での座長、コメンテーター

★その他の公表実績

- ①日中経済協会経済交流会議
場所：東京一般財団法人日中経済協会本部会議室
期日：2017年1月12日
テーマ：「新興経済の台頭とアジア経済の新基軸」
- ②野村證券福井支店セミナー
場所：野村證券福井支店セミナー室
期日：2017年1月27日
テーマ：「アジアにおける新興経済の台頭とその将来」
- ③「とちかち創生塾」
場所：北海道帯広市
期日：2017年11月18日
テーマ：「一带一路」と日中関係の新展開
- ④福井県地方自治研究センター
場所：福井県国際交流会館
期日：2017年11月22日
テーマ：漂流するTPPとアジアコンセンサス
- ⑤福井県永平寺町日中友好協会年次総会
場所：永平寺町公民会館
日時：2019年6月5日
テーマ：「中米貿易戦争と日中関係の将来」

その他、受賞

(2)学会活動等

学会での役職など

- 北東アジア学会 常任理事 (2009年10月～現在)
- 北陸環日本海経済交流促進協議会(北陸AJEC) 理事、企画部会委員、企画小部会委員 (1998年～現在)
- 国際アジア共同体学会常任理事 (2015年～現在)

学会・分科会の開催運営

(3)研究会活動等

- ① その他の研究活動参加 (参加研究会名、調査活動名 (期間))

② その活動による成果

以上の研究会を通じて、国内外及び学内外において、東アジアの学術研究と研究ネットワークの構築に資する学術交流と学術情報交換を行った。

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体

①国・地方公共団体等の委員会・審議会

北陸環日本海経済交流促進協議会理事、企画部会委員

②国・地方公共団体等の調査受託等

③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加

④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動

⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

2015年3月18日（水）福井県立大学公開シンポジウム「東アジア新興国の経済発展と福井県の取組」（企画、モデレータ担当）

⑥その他

2006年～2016年 福井華僑華人聯誼会会長として、福井県日中友好協会、福井市日中友好協会、永平寺町日中友好協会と連携して、日中友好活動を行った。

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等

① 公開講座・オープンカレッジの開講

② 社会人・高校生向けの講座

①県内高校出張講義

福井県立敦賀高校開放講義 2018年10月30日

テーマ：「福井県立大学経済学部の紹介と東アジア経済圏の将来」

③ その他

(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）

(2)委員会・チーム活動

福井県立大学経済学部「東アジアと地域経済研究会」管理人（2006年～2015年）

福井県立大学『経済経営研究』編集委員長（2016年4月1日～2017年3月31日）

福井県立大学『経済経営研究』編集委員（2017年4月1日～2018年3月31日）

福井県立大学『経済経営研究』編集委員（2018年4月1日～2019年3月31日）

福井県立大学『経済経営研究』編集委員（2019年4月1日～2020年3月31日）

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など